

3 健康で、はつらつとしたまちをめざして — 一次世代育成・健康福祉・教育・生涯学習 —

だれもがいつまでも健康で、また地域とともにより質の高い教育をめざすまち、次世代のためにもみんなが互いに助けあい、健康と福祉の向上をめざすやさしいまちの実現をめざします。

◆学童クラブの新設

3億1,146万6千円

担当：子育て支援課

予算書掲載ページ：162

入会児童数の増加に対応するため、八小学童クラブ第二・第三、及び十二小学童クラブ第二・第三の新設工事を実施します。いずれも令和3年度の開設を予定しています。

予算の内訳（使いみち）

●建築工事費	3億503万5千円
●備品購入	505万4千円
●機械警備設置等	137万7千円

財源内訳

■国の負担額	1億2,144万5千円
■都の負担額	1億1,329万5千円
（うち市町村総合交付金	1,390万円）
■小平市の負担額	7,672万6千円
（うち市の借金	6,940万円）



学童クラブ室の様子

◆民設民営学童クラブに対する補助金制度の創設

2,413万6千円

担当：子育て支援課

予算書掲載ページ：162

保護者の多様なニーズにも対応できる民設民営学童クラブの設置を促進するため、開設準備費及び運営費に係る補助金制度を創設します。

予算の内訳（使いみち）

●補助金	2,413万6千円
------	-----------

財源内訳

■国の負担額	698万1千円
■都の負担額	1,392万7千円
■小平市の負担額	322万8千円

◆子ども広場事業の充実

1,950万円

担当：子育て支援課

予算書掲載ページ：156

市内6か所で実施している「子ども広場」を火曜日も開設し、月曜～土曜日に実施します。また、子どもの人口が増加している東部地域において、新たに「出張子ども広場」を週1回実施します。

予算の内訳（使いみち）

●サービス業務委託（増分）	1,950万円
---------------	---------

財源内訳

■国の負担額	446万円
■都の負担額	446万円
■小平市の負担額	1,058万円

◆認可保育園（私立保育園）の新設

1億2,394万7千円

担当：保育課

予算書掲載ページ：148

待機児童の解消を図るため、令和2年度、鈴木町2丁目に私立認可保育園1園（すこやかな森保育園）を開設し、70人の定員の拡充を行います。

予算の内訳（使いみち）

- 保育実施等委託（増分） 1億2,394万7千円

財源内訳

- 国の負担額 3,561万円
- 都の負担額 3,288万5千円
- 保育料 949万円
- 小平市の負担額 4,596万2千円



保育園の様子

◆認可保育園等の使用済みおむつの処理費補助

523万3千円

担当：保育課

予算書掲載ページ：148

私立認可保育園及び小規模保育事業所に対し、各園で使用済みおむつを処理できるよう、有料ごみ処理袋購入費相当額を補助します。

予算の内訳（使いみち）

- 保育実施等委託（増分） 507万4千円
- 保育サービス推進事業補助（増分） 15万9千円

財源内訳

- 小平市の負担額 523万3千円

◆小平市認定家庭福祉員（都制度）の家庭的保育事業（国制度）への移行

1,348万9千円

担当：保育課

予算書掲載ページ：148

市の認定のもと保育を行っている小平市認定家庭福祉員について、国制度の地域型保育事業の1つである家庭的保育事業へと移行し、市の認可保育施設とします。令和2年度は、1人の認定家庭福祉員を国制度へ移行します。

予算の内訳（使いみち）

- 運営費等補助金 1,348万9千円

財源内訳

- 国の負担額 674万4千円
- 都の負担額 337万2千円
- 小平市の負担額 337万3千円

◆ひとり親家庭・生活困窮者学習支援事業におけるICT活用

1,314万4千円

担当：子育て支援課、生活支援課

予算書掲載ページ：118、160

ひとり親家庭及び生活困窮者家庭の子どもを対象に実施する学習支援事業について、学習習慣の定着及び教室への参加率の向上を図るため、ICTを活用したデジタル教材を導入し、より一人ひとりに合った学習支援を行います。

予算の内訳（使いみち）

- サービス業務委託 1,314万4千円

財源内訳

- 国の負担額 98万6千円
- 都の負担額 837万9千円
- 小平市の負担額 377万9千円

☆その他の事業（次世代育成）

◆民間保育園・認証保育所等経費	65億956万7千円
◆市立保育園の運営経費	18億5,237万2千円
◆私立幼稚園等経費	19億840万9千円
◆児童助成経費 (児童手当、児童扶養手当、乳幼児医療費助成など)	47億7,486万5千円
◆ひとり親福祉経費（ひとり親家庭医療費助成、ひとり親相談など）	9,646万8千円
◆学童クラブ経費	7億4,596万8千円
◆児童館経費	6,284万7千円

◆子育て世代包括支援センターの開設

2,138万4千円

担当：健康推進課

予算書掲載ページ：184

妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う「子育て世代包括支援センター」を、健康センターに開設します。従来のゆりかご・こだいら事業の人員体制等を拡充するとともに、新たに産後ケア事業を開始するほか、東京都の補助による育児パッケージの配布を継続します。

予算の内訳（使いみち）

- 産後ケア相談委託 261万8千円
- 会計年度任用職員報酬（増分） 243万7千円
- 翻訳機 10万6千円
- 通訳（医療系）（増分） 4万5千円
- 消耗品（増分） 8千円
- 育児パッケージ 1,617万円

財源内訳

- 国の負担額 179万1千円
- 都の負担額 1,792万7千円
- 小平市の負担額 148万9千円

◆予防接種スケジュール管理等モバイルサービスの開始

85万8千円

担当：健康推進課

予算書掲載ページ：172

予防接種のスケジュールや、乳幼児健診など母子手帳の情報をスマートフォン等で管理できるサービス（アプリ）を導入します。また、対象年齢に応じた通知が可能なアプリの機能を活用し、保護者へ母子保健事業・子育て支援事業の情報提供を行います。

予算の内訳（使いみち）

- 機器等保守整備委託 85万8千円

財源内訳

- 都の負担額 42万9千円
- 小平市の負担額 42万9千円

◆ロタウイルスワクチン予防接種

2,722万6千円

担当：健康推進課

予算書掲載ページ：172

令和2年10月より、生後6週から24週又は32週までの乳児を対象に、ロタウイルスワクチンの定期予防接種を実施します。

予算の内訳（使いみち）

- 予防接種業務委託 2,640万円
- 補助金（里帰り出産償還払い等） 55万円
- 事務処理委託 21万2千円
- 消耗品費 6万4千円

財源内訳

- 小平市の負担額 2,722万6千円

◆子育て応援サイト管理運営支援

108万3千円

担当：政策課

予算書掲載ページ：68

国からの交付金を活用して、子育てについての情報を一元的に発信するサイトの管理運営を支援します。サイトは、小平市が行う子育て支援情報と、小平市在住の子育て中の女性が発信する情報の2つから成っており、子育て世代の市民の利便性の向上を図ります。

予算の内訳（使いみち）

- 補助金 108万3千円
（サイト管理運営団体へ）

財源内訳

- 国の負担額 54万1千円
- 小平市の負担額 54万2千円

子どもと一緒にそだつまち小平



小平市公認 子育て応援サイト

こだち

小平がより子育てしやすいまちに！
行政情報と、ママの視点のお役立ち情報で
あなたの子育てをサポートするサイトです。



◆受動喫煙防止リーフレット（駅前公衆喫煙所マップ付）の作成

49万5千円

担当：健康推進課

予算書掲載ページ：170

受動喫煙に関する制度や市内の駅前公衆喫煙所のマップ等を掲載したリーフレットを作成し、公共施設や喫煙マナーアップキャンペーン等で配布します。

予算の内訳（使いみち）

- 作成等委託 49万5千円

財源内訳

- 都の負担額 49万5千円

◆こだいら健康ポイント事業

502万2千円

担当：健康推進課

予算書掲載ページ：178

生活習慣の改善や健康維持をサポートするこだいら健康ポイント事業について、新たな参加者の追加募集を行います。引き続き、保健師等による問診や運動指導士によるウォーキング指導を実施します。

予算の内訳（使いみち）

●会計年度任用職員報酬	69万6千円
●報償費（謝礼等）	14万1千円
●郵送料	15万2千円
●機器保守等整備委託	399万8千円
●消耗品費	3万5千円

財源内訳

■都の負担額	119万5千円
■小平市の負担額	382万7千円

◆地域包括ケア推進計画の策定

354万2千円

担当：高齢者支援課

令和2年度小平市介護保険事業特別会計予算書掲載ページ：16

現在の「地域包括ケア推進計画」の計画期間が令和2年度で終了することから、令和3年度から3年間を計画期間とする次期計画を、令和元年度に行った実態調査を踏まえて策定します。

予算の内訳（使いみち）

●計画策定等委託	318万円
●協議会委員謝礼（増分）	36万2千円

財源内訳

■小平市の負担額（一般会計繰入金）	354万2千円
-------------------	---------

◆地域における介護予防や支え合い等への支援の充実

84万3千円

担当：高齢者支援課

令和2年度小平市介護保険事業特別会計予算書掲載ページ：32、36、38

高齢者が身近な地域で介護予防に取り組むことを支援するため、リハビリテーション専門職（理学療法士等）による、市民が運営する介護予防の場の立ち上げ支援や継続支援を引き続き実施するほか、介護を行う家族を支援する家族介護教室を土曜日にも開催します。

また、認知症サポーター養成講座を受講した事業所（店舗等）に認知症サポーターのステッカーを配布し、地域における認知症の理解促進と支援の充実に図ります。

予算の内訳（使いみち）

●理学療法士等謝礼（増分）	70万2千円
●サービス業務委託	3万3千円
●認知症サポーターのステッカー	10万8千円

財源内訳

■国の負担額	20万3千円
■都の負担額	11万5千円
■保険料	40万9千円
■小平市の負担額（一般会計繰入金）	11万6千円

◆高齢者の見守り体制の充実（ふるさと納税返礼品の追加）

16万5千円

担当：高齢者支援課

予算書掲載ページ：134

高齢者の見守りサービスをふるさと納税の返礼品に追加し、高齢者の見守り体制の充実に図ります。

予算の内訳（使いみち）

●サービス業務委託	16万5千円
-----------	--------

財源内訳

■小平市の負担額 （ふるさと納税による寄付）	16万5千円
---------------------------	--------

◆地域密着型介護サービスの整備支援事業

671万2千円

担当：高齢者支援課

予算書掲載ページ：138

医療ニーズの高い高齢者の在宅療養を支えるため、小川東町5丁目に整備されるサービス付き高齢者向け住宅に併設の看護小規模多機能型居宅介護事業所に対して、東京都の補助金を活用し、開設準備に係る経費の補助を行います。

予算の内訳（使いみち）

●補助金（福祉団体等） 671万2千円

財源内訳

■都の負担額 671万2千円

◆障がい者福祉計画、障害福祉計画及び障害児福祉計画の策定

482万5千円

担当：障がい者支援課

予算書掲載ページ：120

令和3年度から6年間を計画期間とする「小平市障がい者福祉計画」、令和3年度から3年間を計画期間とする「第六期小平市障害福祉計画」及び「第二期小平市障害児福祉計画」を、令和元年度に行ったアンケート調査を踏まえて策定します。

予算の内訳（使いみち）

●計画策定等委託 380万円
●検討委員会委員謝礼 102万5千円

財源内訳

■小平市の負担額 482万5千円

◆心身障害者（児）日常生活用具給付事業の拡充

14万3千円

担当：障がい者支援課

予算書掲載ページ：124、126

視覚障がい者の健康管理や自立した生活を支援するため、障害者日常生活用具給付事業の品目に「音声血圧計」を追加します。

予算の内訳（使いみち）

●障がい者関係扶助費（音声血圧計分） 14万3千円

財源内訳

■国の負担額 7万1千円
■都の負担額 3万6千円
■小平市の負担額 3万6千円

◆障がい者グループホームの自立支援給付費等の支援

1億2,671万8千円

担当：障がい者支援課

予算書掲載ページ：124、130

障がい者グループホームを1か所（日中サービス支援型グループホーム、定員16名、短期入所2名）増設し、入所者の共同生活援助費等の支援を行います。
これにより、市内の障がい者グループホーム数は、合計30施設となります。

予算の内訳（使いみち）

●共同生活援助給付費、家賃補助（増分） 1億2,671万8千円

財源内訳

■国の負担額 5,721万4千円
■都の負担額 3,585万8千円
■小平市の負担額 3,364万6千円



◆児童発達支援センターの整備

770万1千円

担当：障がい者支援課

予算書掲載ページ：120

児童発達支援センターの開設に向けて、必要な設備を整備するため、たいよう福祉センターの改修及び増築工事を行うもので、令和元年度から令和2年度にかけて設計を行います。

予算の内訳（使いみち）

- 設計等委託

770万1千円

財源内訳

- 都の負担額 610万円
(市町村総合交付金)
- 小平市の負担額 160万1千円

◆自立相談支援機関におけるひきこもり相談・支援の実施

200万円

担当：生活支援課

予算書掲載ページ：118

小平市社会福祉協議会に委託し設置している「こだいら生活相談支援センター」の相談体制を拡充し、ひきこもり状態にある方やその家族からの相談を確実に受けとめ、丁寧に寄り添う支援を行います。

予算の内訳（使いみち）

- 相談等委託（増分）

200万円

財源内訳

- 国の負担額 150万円
- 小平市の負担額 50万円

☆その他の事業（健康福祉）

◆社会福祉団体育成事業経費（小平市社会福祉協議会など）	1億8,678万3千円
◆たいよう福祉センター、あおぞら福祉センター経費	3億4,896万円
◆障害者自立支援給付経費	49億2,037万4千円
◆障害者地域生活支援事業経費（日常生活用具給付、移動支援など）	2億8,716万4千円
◆障害者福祉推進事業経費（各種補助事業など）	2億9,514万8千円
◆障害者助成費事業経費（心身障害者福祉手当など）	5億9,698万7千円
◆国民健康保険事業特別会計繰出金	22億3,000万円
◆介護予防・生活支援事業経費（高齢者住宅経費など）	3億5,818万2千円
◆高齢者福祉施設経費（福祉会館、さわやか館、ほのぼの館など）	9,772万4千円
◆高齢者福祉推進事業経費（老人クラブ補助、敬老記念品など）	2,672万6千円
◆高齢者助成費事業経費（おむつ支給）	1,137万6千円
◆後期高齢者医療特別会計繰出金	20億7,200万円
◆介護保険事業特別会計繰出金	22億5,200万円
◆生活保護事業経費	60億6,533万6千円
◆健康診査・予防接種・がん検診等経費	8億4,503万2千円
◆健康教室・乳幼児健康診査等経費	2億2,639万9千円

◆学校施設の整備

担当：教育総務課

3億2,697万7千円

予算書掲載ページ：258、260、
268

第四中学校・第六中学校の外壁打診調査、第一小学校・第三小学校の大規模改造工事の設計、第八小学校・第十小学校の大規模改造工事、第十二小学校の増築工事を実施します。

予算の内訳（使いみち）

●調査等委託	340万1千円
●設計等委託	2,003万9千円
●改良・改修工事等	3億353万7千円

財源内訳

■国の負担額	2,722万円
■都の負担額	5,864万6千円
（うち市町村総合交付金	5,450万円）
■小平市の負担額	2億4,111万1千円
（うち市の貯金取崩し	400万円）
（うち市の借金	2億2,480万円）

◆花小金井南中学校地域開放型体育館の建設

担当：教育総務課、学務課

11億1,864万4千円

予算書掲載ページ：268、270

花小金井南中学校の拡張敷地に、地域開放型体育館を建設します。令和元年度から2年度まで建設工事を行い、令和3年度の供用開始を予定しています。また、教室等施設で必要となる備品等を整備します。

予算の内訳（使いみち）

●新築工事等	11億944万4千円
●備品購入等（スクリーン、マシン等）	790万2千円
●無線LAN取付	129万8千円

財源内訳

■国の負担額	4,038万7千円
■都の負担額	2億730万円
（市町村総合交付金）	
■小平市の負担額	8億7,095万7千円
（うち市の借金	8億990万円）



花小金井南中学校地域開放型体育館完成予想図

◆小学校給食調理業務の委託化

6,105万7千円

担当：学務課

予算書掲載ページ：324

令和2年度は新たに、第十四小学校で給食調理業務を委託化します。また、令和3年度から委託実施予定の第十三小学校に、厨房機器や強化磁器食器を整備します。

予算の内訳（使いみち）

- 給食調理業務委託（増分） 3,005万7千円
- 強化磁器食器・食器かご（増分） 270万8千円
- 厨房機器（増分） 2,829万2千円

財源内訳

- 都の負担額 2,008万3千円
（市町村総合交付金）
- 小平市の負担額 4,097万4千円



委託化された給食調理業務の様子

◆学校給食センターの更新

8,316万4千円

担当：学務課

予算書掲載ページ：326

「学校給食センターの整備に関する基本的な方向性」に基づき、PFI手法による施設の更新を行います。令和4年度の供用開始に向けて、令和2年度は、PFI事業者の選定、契約を締結するための事業者選定支援業務（アドバイザリー業務）の委託と、給食センターの解体に向けた廃棄物等の処理を行います。また、令和3年度から開始する代替給食の提供に向けた準備を行います。

予算の内訳（使いみち）

- PFI審査委員会委員謝礼 25万2千円
- PFIアドバイザリー業務委託 695万2千円
- 廃棄物等処理委託 2,016万2千円
- 代替給食調理・配送等委託 5,579万8千円

財源内訳

- 小平市の負担額 8,316万4千円

◆特別支援教育総合推進計画（第二期）前期計画の策定

377万2千円

担当：指導課

予算書掲載ページ：254

現在の「特別支援教育総合推進計画後期計画」が令和2年度で終了することから、令和3年度から5年間を計画期間とする特別支援教育総合推進計画（第二期）前期計画を策定します。令和2年度は、令和元年度に行ったアンケート調査を踏まえ、計画を策定します。

予算の内訳（使いみち）

- 計画検討委員会委員謝礼 77万2千円
- 計画策定等委託 300万円

財源内訳

- 小平市の負担額 377万2千円

◆特別支援教育の充実

920万円

担当：学務課

予算書掲載ページ：272

現在、通級指導学級に通って受けている特別な指導を、在籍校で受けられるようにするため、市内全中学校に特別支援教室を設置します。令和2年度は、令和3年度から導入予定の第一中学校・第三中学校・第六中学校・花小金井南中学校に教材や備品等を整備します。

予算の内訳（使いみち）

- 教材、教具、備品の購入 920万円

財源内訳

- 都の負担額 120万円
- 小平市の負担額 800万円

◆教育のICT化の推進

2,628万2千円

担当：学務課、指導課

予算書掲載ページ：258、260

令和2年度より、小学校において新学習指導要領が施行され、プログラミング教育が必修化となるため、小学校のPC教室に、クラス全員が1台端末を使用できるようタブレット端末を追加します。また、プログラミング教育に必要な教材を配備します。

予算の内訳（使いみち）

- 小学校PC教室タブレット端末追加 1,815万円
- プログラミング教育の教材配備（理科電気キット等購入・設置） 813万2千円

財源内訳

- 小平市の負担額 2,628万2千円

◆学校における働き方改革

担当：学務課、指導課

2,322万2千円

予算書掲載ページ：250、258、
274

教員の長時間労働の改善及び業務負担の軽減、学校教育の質の維持向上を図るため、小・中学校10校に副校長の業務補助を行う副校長補佐を配置します。また、部活動の指導体制を充実し、顧問教員の負担軽減を図るため、部活動指導員を中学校全8校に配置します。

さらに、学校教職員の健康保持のため医師面談体制を整え、ストレスチェックを実施するなど、学校教職員の労働安全衛生体制を整備します。

予算の内訳（使いみち）

●副校長補佐報酬	1,481万4千円
●部活動指導員報酬等（増分）	745万8千円
●学校教職員の労働安全衛生体制の整備 （産業医報酬、ストレスチェック実施委託）	95万円

財源内訳

■都の負担額	1,867万円
■小平市の負担額	455万2千円

◆コミュニティ・スクールの充実

担当：指導課

232万5千円

予算書掲載ページ：254、256

学校経営協議会を設置し、保護者・地域住民等が一定の権限と責任を伴いながら、学校経営に意見を反映させる地域に開かれた学校づくりを推進します。現在、小学校9校、中学校2校で実施しています。令和2年度は、第五小学校、第九小学校、第十小学校に導入するとともに、第二小学校、第十二小学校で新たに導入に向けた取組を行います。

予算の内訳（使いみち）

●学校経営協議会委員報酬（増分）	64万8千円
●消耗品、講師謝礼など（増分）	167万7千円

財源内訳

■小平市の負担額	232万5千円
----------	---------

◆小川西グラウンドの人工芝化

389万4千円

担当：文化スポーツ課

予算書掲載ページ：318

より快適なスポーツ環境の整備や効率的なグラウンド管理を目的に、小川西グラウンドの人工芝化を実施します。令和2年度から3年度にかけて設計を行います。

予算の内訳（使いみち）

●人工芝化設計 389万4千円

財源内訳

■都の負担額 310万円
（市町村総合交付金）
■小平市の負担額 79万4千円

☆その他の事業（教育・生涯学習）

◆小学校経費（小学校施設維持管理・就学援助・保健事業・給食運営事業など）	16億6,629万3千円
◆中学校経費（中学校施設維持管理・就学援助・保健事業・給食運営事業など）	8億7,018万6千円
◆公民館経費	4億742万8千円
◆図書館経費	8億2,634万5千円
◆体育館・体育施設経費	3億8,064万8千円

4 住みやすく、希望のあるまちをめざして —都市基盤・交通・産業—

住みやすく魅力あふれるまち、だれもが気持ちよく過ごすことができるように駅前や道路が整備され、すべての人々にとって親しみがあり、生活に便利な味わいのあるまちの実現をめざします。

◆小川駅西口地区市街地再開発事業の推進

4億1,036万5千円

担当：地域整備支援課

予算書掲載ページ：230

交通広場を含めた小平都市計画道路3・4・12号線等の公共施設とその周辺街区（約1.2ヘクタール）を一体的に整備する市街地再開発事業を施行する再開発組合に対し、公共施設整備の負担金と再開発ビル等の整備に対する補助金を交付し、事業の着実な促進を図るとともに、ペDESTリアンデッキの基本設計を行います。

予算の内訳（使いみち）

- ペDESTリアンデッキ基本設計 1,886万5千円
- 公共施設管理者負担金 6,950万円
- 補助金（組合へ） 3億2,200万円

財源内訳

- 国の負担額 1億7,815万円
- 都の負担額 8,478万7千円
- 小平市の負担額 1億4,742万8千円
（うち市の借金 7,270万円）



小川駅西口地区市街地再開発事業イメージ（南東側からの眺め）

◆小平駅北口地区市街地再開発事業の推進

40万円

担当：地域整備支援課

予算書掲載ページ：230

再開発準備組合に対して活動費の補助を行うとともに、事業計画案の検討、関係機関との協議及び権利者の合意形成に向けた取組みに対する助言や協力などの支援を行います。

予算の内訳（使いみち）

- 補助金（準備組合へ） 40万円

財源内訳

- 小平市の負担額 40万円



現在の小平駅北口

◆鷹の台駅前広場用地の整備

5,655万1千円

担当：道路課

予算書掲載ページ：224

令和元年度に取得した鷹の台駅前の用地を、北側の隣接する用地と合わせて駅前広場を整備するもので、令和2年度は詳細設計等を行います。

予算の内訳（使いみち）

- 用地購入損失補償費 4,880万円
- 詳細設計 775万1千円

財源内訳

- 都の負担額 2,430万円
- 小平市の負担額 3,225万1千円
 - （うち市の貯金取崩し 900万円）
 - （うち市の借金 2,200万円）

◆市道の無電柱化事業

1,118万7千円

担当：道路課

予算書掲載ページ：224

東京都の無電柱化チャレンジ支援事業を活用し、令和2年度は、たかの台本通りにおける無電柱化整備に向けた技術検討や予備設計を行います。

予算の内訳（使いみち）

- 電線共同溝予備設計業務等 1,118万7千円

財源内訳

- 都の負担額 1,118万7千円



無電柱化実施路線
（武蔵野美術大学前(市道第B-222号線)）

◆都市計画道路整備・鉄道立体化の推進

1億9,351万4千円

担当：道路課

予算書掲載ページ：238

「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」により優先整備路線に選定された、都市計画道路3・4・19号線の損失補償算定や用地購入等を行うほか、都市計画道路3・4・10号線の協議用資料の作成等を進めます。また、地域のまちづくりの一環として「第三次まちづくり・まちづくりパートナー事業」を活用して整備を行う、府中街道から山王通りまでの都市計画道路3・3・3号線の協議用資料の作成等を進めます。

東京都の「踏切対策基本方針」において、鉄道立体化の検討対象区間に抽出されている、西武新宿線の花小金井駅付近の鉄道立体化の推進に向け、調査・研究を行います。

予算の内訳（使いみち）

- 都市計画道路3・4・19号線整備事業
（協議用資料作成、損失補償算定、用地購入等） 1億4,414万3千円
- 都市計画道路調査事業 4,937万1千円
（協議用資料作成、損失補償算定、鉄道立体化に向けた調査・研究等）

財源内訳

- 国の負担額 3,950万円
- 都の負担額 4,929万9千円
- 小平市の負担額 1億471万5千円
（うち市の借金 3,340万円）



都市計画道路3・3・3号線（小川町一丁目区間）

◆道路整備事業の充実

4億5,525万4千円

担当：道路課

予算書掲載ページ：224、226

道路維持補修工事として10件（**1**～**10**）、道路新設改良工事として3件（①～③）、歩道拡幅を目的とする道路用地購入を予定しています。また、引き続き私道に対する助成を実施します。

※道路整備予定箇所については、次ページに掲載しています。

予算の内訳（使いみち）

●道路維持補修	2億3,842万2千円
●道路新設改良	1億7,369万円
●私道補助	4,314万2千円

財源内訳

■都の負担額	9,190万7千円
（うち市町村土木補助	2,844万7千円）
（うち地域福祉推進区市町村包括補助	256万円）
（うち市町村総合交付金	6,090万円）
■私道補助事業受託収入	427万円
■小平市の負担額	3億5,907万7千円
（うち市の借金	3億4,210万円）



道路新設改良工事により整備された市道

◆市内公共交通の充実

5,186万7千円

担当：公共交通課

予算書掲載ページ：228、230

小平駅から津田公民館・図書館を循環するコミュニティバス運行のほか、コミュニティタクシーは、大沼ルート、栄町ルート、鈴木町ルートの試行運行を実施し、市南西部地域においては、引き続き実証実験運行を実施します。また、公共交通が身近な乗り物であることをPRするために「バスとタクシーのひろば in 小平」を開催するとともに、公共交通マップの作成などによる公共交通の利用促進を行います。

予算の内訳（使いみち）

●コミュニティバス運行経費補助・消耗品	2,900万円
●コミュニティタクシー運行経費補助	2,150万円
●総合的な交通体系整備支援等 （謝礼・消耗品・マップ作成委託）	136万7千円

財源内訳

■公共交通マップ広告収入	36万円
■小平市の負担額	5,150万7千円

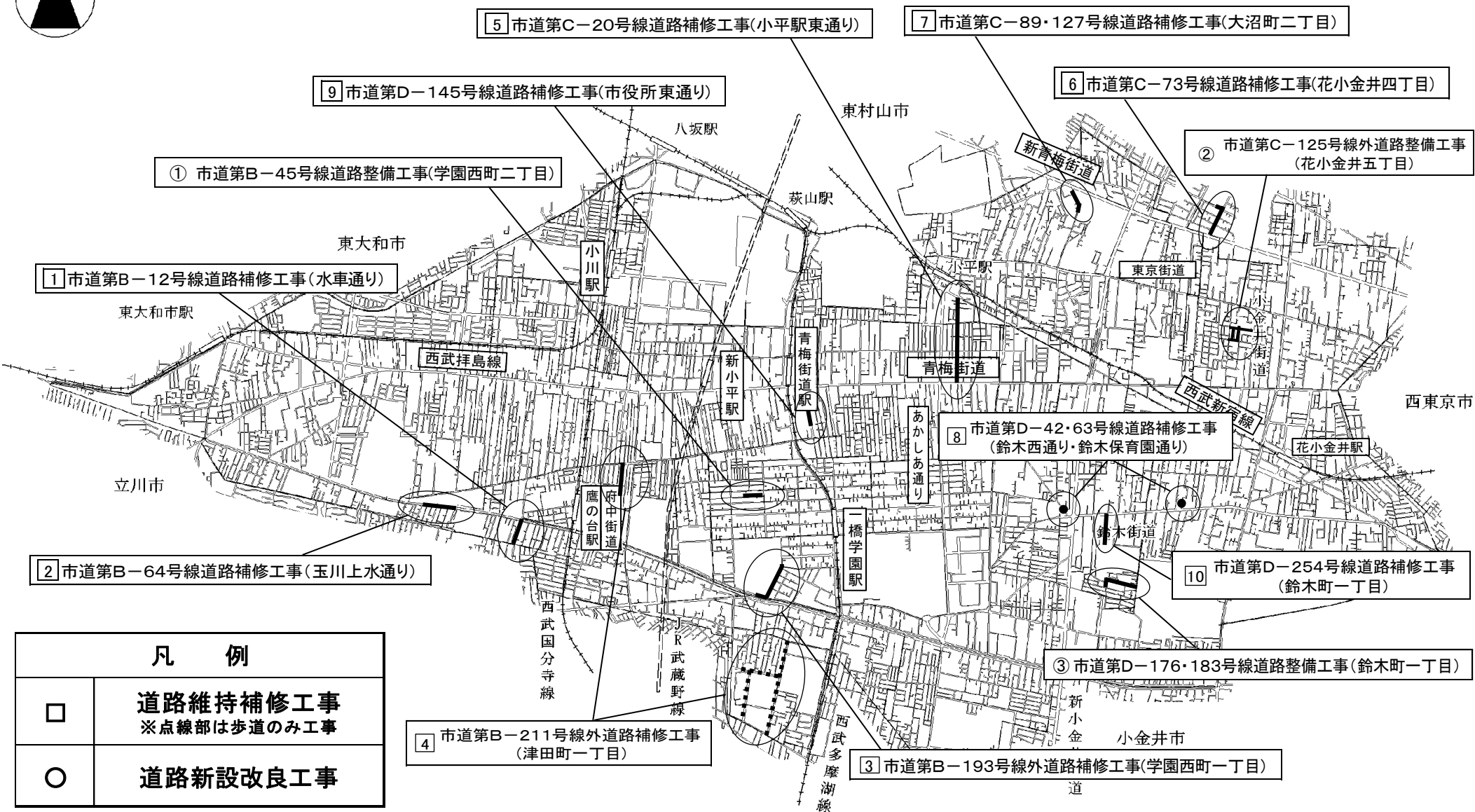
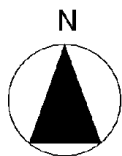


にじバスこだ健康祭号



南西部実証実験運行車両

令和2年度 道路整備予定箇所図



◆駅前自転車駐車場整備

担当：交通対策課

2,217万6千円

予算書掲載ページ：218

小川駅西口地区の市街地再開発事業による駅前広場の整備にあわせ、図面・資料作成等を行い、検討を進めます。

予算の内訳（使いみち）

●図面・資料作成等 2,217万6千円

財源内訳

■小平市の負担額 2,217万6千円
（うち市の貯金取崩し 500万円）
（うち市の借金 1,660万円）

◆農地の創出支援事業

担当：産業振興課

176万6千円

予算書掲載ページ：204

農業者等が所有する宅地や雑種地を農地にする取組を支援し、農地の創出及び利用の促進を図ります。

予算の内訳（使いみち）

●整備費補助 176万6千円

財源内訳

■都の負担額 117万7千円
■小平市の負担額 58万9千円

◆都市農業活性化支援事業

担当：産業振興課

4,695万3千円

予算書掲載ページ：204

小平市果樹組合に対し、収穫量が倍増する新しい栽培技術であるナシ根域制限栽培システムの導入や、防災兼用農業用井戸の設置を支援し、生産基盤の強化を図ります。

予算の内訳（使いみち）

●農業用設備等の導入経費補助 4,695万3千円

財源内訳

■都の負担額 3,358万9千円
■小平市の負担額 1,336万4千円



平成29年度に設置した防災兼用農業用井戸



平成29年度に導入したナシの根域（根）を制限した栽培方法（新技術）

◆農業体験ファーム（体験農園）整備事業

担当：産業振興課

100万円

予算書掲載ページ：204

体験農園の整備を支援することで、農業経営の向上と、市民の農業体験の場の確保を図ります。令和2年度は新たに1園（回田町）の開設準備のための補助を行います。

予算の内訳（使いみち）

●施設や設備等の整備費補助 100万円

財源内訳

■小平市の負担額 100万円



体験農園の様子

◆農商連携地産地消・商業活性化推進プロジェクト

担当：産業振興課

240万円

予算書掲載ページ：204、210

小平産農産物の収穫体験や、農産物を使った飲食店等のオリジナルメニューの試食を行うイベントを実施し、市内の農産物、飲食店の魅力をPRします。東京2020大会の気運醸成事業との連携として実施します。

予算の内訳（使いみち）

●イベント業務委託 240万円

財源内訳

■都の負担額 120万円

■小平市の負担額 120万円



めぐりん小平収穫体験の様子



令和元年度に実施したイベントのパンフレット

◆子育て中の女性の就労促進事業

担当：産業振興課

331万7千円

予算書掲載ページ：198

国からの交付金を活用して平成28年度から実施している事業です。地域経済の活性化を図るとともに、子育て世代を中心とした女性が社会で活躍できるよう、ビジネススキルアップの実施や仕事の創出、業務の受発注、コワーキングスペース（様々な人と共同で働く場・作業スペース）の運営などの取組に対し、引き続き支援を行います。

予算の内訳（使いみち）

●対象事業者等への助成 331万7千円

財源内訳

■国の負担額 165万9千円
■小平市の負担額 165万8千円



こだいらコワーキングスペース「すだち」



◆観光まちづくりの推進

担当：産業振興課

3,190万円

予算書掲載ページ：210

引き続き、こだいら観光まちづくり協会による観光まちづくりの取組を支援します。令和元年度にグリーンロード推進協議会及びブルーベリー協議会等の事業を協会に移管したことに伴い、現行の観光ポータルサイトの改修等を実施します。

予算の内訳（使いみち）

●「こだいら観光まちづくり協会」への助成 3,190万円

財源内訳

■都の負担額 123万4千円
■小平市の負担額 3,066万6千円



現行の観光ポータルサイト

☆その他の事業

◆交通安全対策経費（交通安全、自転車対策） 4億2,168万3千円

◆道路橋りょう経費（駅前広場、市道の管理、里道等管理） 1億5,788万円

5 健全で、進化するまちをめざして — 地方自治・行財政 —

都市として進化する魅力あふれるまち、自己の責任で都市の行財政の運営をめざすことによって、まちの輝きを持ち続け、またみんなに信頼され進化するまちをめざします。

◆（仮称）小平市第四次長期総合計画の策定

387万2千円

担当：政策課

予算書掲載ページ：68

令和元年度に引き続き、令和3年度から12年間を計画期間とする次期長期総合計画の策定を行います。令和2年度は、審議会の運営、地域懇談会等の市民参加の取組のほか、計画策定完了の年であることからシンポジウムも実施します。

予算の内訳（使いみち）	
●委員報酬	120万5千円
●会計年度任用職員報酬等	54万7千円
●消耗品、講師謝礼等	44万7千円
●計画冊子等作成委託	146万3千円
●概要版等印刷委託	21万円

財源内訳	
■小平市の負担額	387万2千円



計画の検討に参加していただいた市民の皆さん

◆市政世論調査の実施

270万7千円

担当：市民課

予算書掲載ページ：60

市民の生活意識と市政に対する意向・要望等を把握し、各種事業・施策の遂行や評価の参考資料とすることを目的として、市政に関する世論調査を実施します。

予算の内訳（使いみち）	
●調査等委託	270万7千円

財源内訳	
■小平市の負担額	270万7千円

◆RPA、AI-OCRの導入による課税事務の効率化

319万円

担当：情報政策課、税務課

予算書掲載ページ：70

個人住民税の特別徴収異動届出書、特別徴収切替届出書のシステム入力業務について、AI-OCRによるデータ化とRPAによるシステム入力を行い、業務効率の向上を図ります。

予算の内訳（使いみち）	
●導入・保守業務委託	198万円
●使用料	121万円

財源内訳	
■小平市の負担額	319万円

◆住民情報システムの再構築

担当：情報政策課

1億1,739万2千円

予算書掲載ページ：70

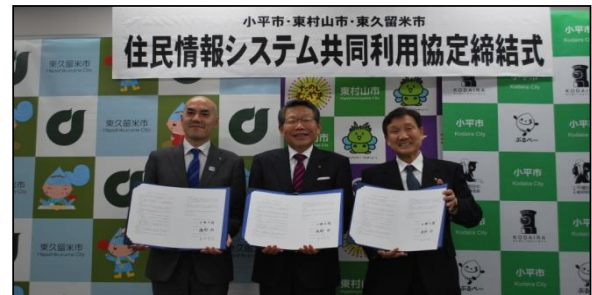
令和4年1月の住民情報システムの更新に合わせて、東村山市・東久留米市との3市で、自治体クラウド化による再構築を進めます。令和2年度は事業者選定やシステム設計等を行います。

予算の内訳（使いみち）

- 新住民情報システム再構築支援 1億1千万円
- 計画策定等支援 739万2千円

財源内訳

- 都の負担額 5,780万円
(市町村総合交付金)
- 多摩・島しょ広域連携活動助成金 166万6千円
- 小平市の負担額 5,792万6千円



住民情報システム共同利用協定締結式

◆建築基準行政の実施に向けた準備

担当：建築指導準備課

1,916万8千円

予算書掲載ページ：228

令和3年4月に東京都から移管予定の建築基準行政事務の実施に向け、必要となる備品の購入等、準備を進めます。

予算の内訳（使いみち）

- 支援システム導入 830万円
- 備品購入費 628万9千円
- 修繕料 114万6千円
- 消耗品費 133万6千円
- 会計年度任用職員報酬 69万3千円
- 配送委託 47万6千円
- 研修負担金、事務機器借上料、旅費、印刷製本費 92万8千円

財源内訳

- 小平市の負担額 1,916万8千円

◆小川駅西口地区市街地再開発事業公共床等の整備 (公共施設マネジメントの推進)

担当：公共施設マネジメント課

8,461万9千円

予算書掲載ページ：70

令和元年度に策定した小川駅西口地区市街地再開発事業公共床等の整備に関する基本計画に基づき、令和元年度に引き続き、小川駅西口公共床の基本設計・実施設計を行います。

予算の内訳（使いみち）

- 基本設計委託 4,223万2千円
- 実施設計委託 4,238万7千円

財源内訳

- 小平市の負担額 8,461万9千円
(うち市の貯金取崩し 5,600万円)
(うち市の借金 2,770万円)



小川駅西口地区市街地再開発事業施設建築物外観イメージ図
(北西側からの眺め)

◆中央公民館、健康福祉事務センター及び福祉会館の複合化
(公共施設マネジメントの推進)

9,397万円

担当：公共施設マネジメント課

予算書掲載ページ：70

令和元年度に策定した中央公民館、健康福祉事務センター及び福祉会館の更新等に関する基本計画に基づき、複合化に係る基本設計・実施設計を行います。

予算の内訳(使いみち)

●基本設計・実施設計委託 9,397万円

財源内訳

■小平市の負担額 9,397万円
(うち市の貯金取崩し 4,800万円)
(うち市の借金 4,520万円)

◆十一小の更新等事業(公共施設マネジメントの推進)

609万2千円

担当：公共施設マネジメント課

予算書掲載ページ：70

公共施設マネジメント推進計画に基づき、令和元年度に引き続き、第十一小学校の更新等に関する基本計画を策定します。

予算の内訳(使いみち)

●基本計画策定支援 609万2千円

財源内訳

■小平市の負担額 609万2千円



現在の第十一小学校